

事業評価シート

番号 1640030 _ 001

【1.基本情報】

事業名	景観まちづくり活動支援事業[活動支援]				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景観課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※		実施主体	(一財)岐阜市にぎわいまち公社
実施期間	平成15 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	景観法、岐阜市景観条例、景観計画	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜らしさあふれる、賑わいのあるまちなみ空間の創造や自然と調和し、歴史・文化資源を生かしたまちなみを保全、継承するために市民、企業、行政が協働して個性豊かなまちづくりを行い、住民主体の景観まちづくり活動の支援を行う。
事業の内容		景観まちづくり活動の支援等に関すること。
事業の対象	何を	景観まちづくり活動支援
	誰に (対象者・対象者数)	景観形成市民団体、市民
	どのくらい (具体的数値で)	30回
令和2年度 (実施内容)		景観まちづくりの情報収集及び相談、啓発事業の開催、景観形成市民団体への支援

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	5,357	169	3,978	117	3,803	117
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	5,357	169	3,978	117	3,803	117

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		15,462	13,918	10,074
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	活動支援	15,462	13,918	10,074
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		15,462	13,918	10,074

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	20,819	17,896	13,877

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	20,819	17,896	13,877

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	景観形成市民団体	景観形成市民団体	景観形成市民団体
受益者数	6	6	6
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,469,883	2,982,667	2,312,750

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	活動支援件数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	30	30	30
実績値	34	33	25

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	まちなみや景観の美しいまちだと思ふ人の割合	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	61.0	57.8	58.5
実績値	57.8	58.5	61.7
達成状況	×(未達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	景観形成市民団体などの住民と協働し、岐阜らしい景観形成を推進することからニーズに合っている。
		住民主体の景観まちづくり活動の支援であることから、市が行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民参画による景観まちづくりを支援していくためには有効である。
		岐阜らしい賑わいのあるまちなみ空間の創造や自然と調和し、歴史・文化資源を生かしたまちなみを保全、継承するために市民や企業の協力を得る必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	景観形成に取り組むことにより、住民の意識向上、良好な景観整備が行われている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	景観形成への取り組みが、積極的な景観形成市民団体ほど活動支援割合は大きい。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	良好な景観を維持していくためには、継続的な支援が必要である。

事業評価シート

番号 1640030 - 002

【1.基本情報】

事業名	景観まちづくり活動支援事業[ファンド]				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景観課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進			政策コード	6 - 1 - 0 - 0
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※		実施主体	(一財)岐阜市にぎわいまち公社
実施期間	平成20 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	景観法、岐阜市景観条例、景観計画	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜らしさあふれる、賑わいのあるまちなみ空間の創造や自然と調和し、歴史・文化資源を生かしたまちなみを保全、継承するために市民、企業、行政が協働して個性豊かなまちづくりを行い、住民主体の景観まちづくり活動の支援を行う。
事業の内容		ぎふ景観まちづくりファンドに関すること。 (歴史的建築物やまちなみを守るために実施される工事の助成制度)
事業の対象	何を	歴史的建築物等の保全に対するファンド助成金、景観重要建造物等の保全に対する助成金
	誰に (対象者・対象者数)	金華地区、鶺鴒屋地区、中山道沿道区域の歴史的建築物等所有者及び景観重要建造物所有者(20棟)、都市景観重要建築物所有者(9件)
	どのくらい (具体的数値で)	岐阜景観まちづくりファンドは、補助限度額最大300万円、かつ、外観の保存工事に要する経費の1/2 景観重要建造物は、補助限度額600万円、かつ景観重要建造物の外観等の保存工事に要する経費の1/2 都市景観重要建築物は、補助限度額300万円、かつ都市景観重要建築物の外観の保存工事に要する経費の1/2
令和2年度 (実施内容)		助成件数9件、助成額8,791,000円

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,628	146	3,196	94	3,055	94
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	4,628	146	3,196	94	3,055	94

(2)物にかかるコスト

項目	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)		令和2年度決算額(千円)	
	直接経費 【直接事業費】 (B)					
	9,679		15,820		18,383	
項目	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)		令和2年度決算額(千円)	
	直接事業費の主な内訳					
	ファンド事業	9,679	15,820		18,383	
項目	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)		令和2年度決算額(千円)	
	減価償却費 【施設管理】※ (C)					
計(D)=B+C	9,679		15,820		18,383	

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	14,307	19,016	21,438

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	14,307	19,016	21,438

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	歴史的建築物所有者	歴史的建築物所有者	歴史的建築物所有者
受益者数	10	12	9
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,430,720	1,584,667	2,382,000

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	助成額	単位	千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	14,000	17,000	16,366
実績値	15,730	12,993	8,791

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	まちなみや景観の美しいまちだと思ふ人の割合	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	61.0	57.8	58.5
実績値	57.8	58.5	61.7
達成状況	×(未達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歴史的建築物等を維持していくためには、多大な維持費がかかるため、それらを後世に伝えるためには、支援が必要と考える。 ファンド設立時から、岐阜市にぎわいまち公社へ運用を委託している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	歴史的建築物やまちなみを保全していくには有効である。 ファンドでは、一般からの寄付も受け付けている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歴史的建築物やまちなみを保全していくには有効である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	助成対象は、積極的に建築物やまちなみなどを保全する区域である景観計画重要区域内と景観重要建造物等として指定されている建築物であるが、まちなみを守ることは、市民全体のシビックプライドの醸成に繋がるため適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	廃止	基金の残高が僅少になってきたことから、令和3年度が最終年度となる見込み。 今後、支援の内容や新たな財源などについて検討を進める。

事業評価シート

番号 1640030 _ 003

【1.基本情報】

事業名	屋外広告物啓発協力員制度				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景觀課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	平成 11 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外広告物啓発協力員要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		市民の協力により、屋外広告物法及び岐阜市屋外広告物条例に規定する良好な景観の形成及び風致の維持並びに公衆に対する危害の防止を達成する。
事業の内容		自治会連合会ごとに委嘱した屋外広告物啓発協力員が、地域内をパトロールして違反広告物等を市に報告するとともに、地域において屋外広告物制度の啓発活動を行う。
事業の対象	何を	地域内のパトロール
	誰に (対象者・対象者数)	屋外広告物啓発協力員
	どのくらい (具体的数値で)	違反広告物等の報告を月1回以上
令和2年度 (実施内容)		各自治会連合会の屋外広告物啓発協力員50人からの報告を受けて、職員が違反広告物の是正指導や撤去を行うなど、屋外広告物の適正化を図った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	951	30	1,020	30	975	30
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	951	30	1,020	30	975	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		604	601	599
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	謝礼	600	596	598
	食糧費	4	5	1
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		604	601	599

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,555	1,621	1,574

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,555	1,621	1,574

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	屋外広告物啓発協力員	屋外広告物啓発協力員	屋外広告物啓発協力員
受益者数	50	50	50
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	31,100	32,420	31,480

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	パトロール報告件数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	600	600	600
実績値	634	632	620

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	パトロールによる違反広告物報告件数	単位	件
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	対前年比マイナス	対前年比マイナス	対前年比マイナス
実績値	110	95	70
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	①市民の協力を活用し、屋外広告物法及び岐阜市屋外広告物条例に規定する良好な景観の形成及び風致の維持並びに公衆に対する危害の防止を達成する目的は市民・社会ニーズに合っている。 ②①の目的を達成するため、市民に近い基礎自治体である本市が実施する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	①市民の協力により、市域全域から違反広告物等について月1回以上報告を受けられるため効率的に違反広告物の是正・指導ができる。 ②市域内は本市が実施する必要がある、市民協働で屋外広告物の適正化を図っており非常に効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民との協働(自治会連合会)により屋外広告物の適正化を図ることができ期待した効果が得られた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市民の協力により、屋外広告物法及び岐阜市屋外広告物条例に規定する良好な景観の形成及び風致の維持並びに公衆に対する危害の防止を達成するための活動であることから適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	引き続き、継続して事業に取り組む。

事業評価シート

番号 1640030 _ 004

【1.基本情報】

事業名	中山道加納宿まちづくり交流センター管理運営事業				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景觀課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	令和2 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	中山道加納宿まちづくり交流センター条例	

【2.事業概要】

事業の目的		加納宿を中心とした中山道沿道の歴史及び文化の継承を図り、地域住民との協働によるまちづくり活動の場を提供することにより、地域住民相互の交流を促進し、地域の活性化に寄与することを目的とする。
事業の内容		まちづくり活動の場を提供
事業の対象	何を	貸会議室を利用した地域住民等の活動
	誰に (対象者・対象者数)	地域団体、市民
	どのくらい (具体的数値で)	年間稼働率30%以上
令和2年度 (実施内容)		令和2年10月から令和3年3月までの会議室稼働率:4%

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		3,803	117
パートタイム(嘱託職員)	0		0		2,493	242
パートタイム(アルバイト)	0		0		419	93
計(A)	0	0	0	0	6,714	452

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
				15,076
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	光熱水費			372
	委託料			1,100
	備品購入費			12,102
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
				10,913
計(D)=B+C		0	0	25,989

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	32,703

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			19,800
その他			
計(F)	0	0	19,800

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	12,903

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者			会議室利用申込者
受益者数			31
受益者負担額(千円)			20
受益者負担率(%)			0.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			416,213

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	施設開館日数		単位
	平成30年度	令和元年度	日
目標値			139
実績値			139

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数(入館者)		単位
	平成30年度	令和元年度	人
目標値			7,500
実績値			7,191(10月～)
達成状況			×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	中山道沿道の歴史的・文化的なまちづくりを推進するために必要である。
		地域住民との協働によるまちづくり活動の施設であり、市が行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民参画によるまちづくりを支援していくためには有効である。
		まちづくり活動を行う地域団体等への活動支援及び連携を図るために市が関わる必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	施設活用を図るために活動を進めている地域団体等を支援することにより、良好なまちなみの創出や地域の活性化が図れる見込みである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	世代に関係なく、広く市民が活用できる施設であるため適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	良好なまちなみの創出や地域の活性化を推進ため、継続的な運営が必要である。

事業評価シート

番号 1640030 _ 005

【1.基本情報】

事業名	公共サイン整備事業				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景觀課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進			政策コード	6 - 1 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※		実施主体	岐阜市
実施期間	平成14 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的		歩行者系案内看板を設置することで歩行者・自転車・バス利用者などのまちなか回遊性を向上させ、利便性向上と中心市街地及び周辺地域の活性化を図る。
事業の内容		拠点施設の建築、移転等に伴う歩行者系案内看板の増設及び定期的な地図情報更新を図る。
事業の対象	何を	地図情報更新
	誰に (対象者・対象者数)	一般市民及び来街者
	どのくらい (具体的数値で)	3年～5年程度
令和2年度 (実施内容)		新庁舎開設に合わせて新庁舎周辺に歩行者系案内看板を設置 ※令和3年度当初に地図情報更新

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		2,535	78
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	2,535	78

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	看板設置			14,080
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	0	14,080

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	16,615

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			13,092
県支出金			
市債			900
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	13,992

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	0	2,623

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者			一般市民及び来街者
受益者数			不特定多数
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	歩行者系案内看板設置数	単位	基
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			3
実績値			3

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	目的地までの行きやすさ満足度	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			96.5
実績値			97.2
達成状況			○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜駅周辺～市役所を含む中心市街地～岐阜公園周辺の回遊性や利便性を向上させ、中心市街地及び周辺地域の活性化に寄与するものである。 公共サインであるため、市が設置及び維持管理を行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	歩行者や自転車通行量の多い地点や施設利用者の多い公共施設に設置しており、利便性が高く有効である。 多様な年齢層の歩行者等に対応する情報発信方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	定期的な地図情報の更新が図られ、利便性を維持している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	不特定多数の方が訪れる地域を網羅しており、公共性の高い事業である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	地図情報の提供により、来街者の現在地把握及び円滑な誘導が図られており、継続的な情報更新が必要である。